

和歌山県立串本古座高等学校

広報くしこぎ

編集：発行：串本古座高等学校地域協議会

INDEX

- ・令和3年度4月～8月のトピックス …… 1～3
- ・地域協議会 …… 4～5



令和3年度一学期の動き

4月

○ 始業式



昨年度は休校措置のため、スタートが遅くなったり、夏休みが短縮されたりと慌ただしかったが、今年度は予定通り4月8日にスタートを切ることができ、行事予定を慎重に進める予定です。その一つとして始業式も体育館に集合して行うのではなく、放送にて実施しました。



○ 始業式

入学式の出席者を新入生および保護者に限定し、換気や座席の間隔を広くするなど感染症感染予防対策を行い実施しました。

今年度は88名の新入生が入学しました。学校長からは『コミュニケーション力・自らの路を切り開く力・他者との望ましい関係性を作る力』を、身につけてほしい力として述べられました。

○ 介護初任者研修

今年度も社会福祉法人串本福祉会 特別養護老人ホーム にしき園のご協力のもと『介護初任者研修』資格取得のための授業がスタートしました。



第1回の授業では開校式と1年間に学習する内容について、施設長の和田さんより説明を受けました。この授業を受講し、現在にしき園に勤務している先輩から、「実際に働いている方から経験ややりがいのお話を聞いて介護の仕事に興味を持ちました。」との感想でした。

○ クラブ紹介



新入生に向け2・3年生の先輩が、本校のクラブ活動の紹介を行いました。すべての紹介終了後、新入生たちは各クラブの見学を行いました。

○ 対面式



例年は始業式終了後に行っていた対面式ですが今年度は、生徒会の生徒や職員による校則について実演を交えた形で行い、その後、対面式を行いました。昼休みに体育館で行われました。

5月

○ 遠足の実施



今年度の遠足は、
コロナウイルス感染症を心配しつつも予定どおり実施しました。

当日は、快晴に恵まれました。しかし、前日に雨が降ったこともあり、カヌーやシーカヤックを予定していたクラスは残念ながら、予定を変更することになりましたが、親交を深めることができましたようでした。

(写真は卒業アルバムに使用するためマスクを外して撮影しています)。

○ 防災避難訓練実施



南海トラフ巨大地震の浸水被害を想定した、避難訓練を実施しました。

天候はあいにく小雨だったため、避難場所を体育館に変更して実施しました。

訓練終了後は、防災委員長および教頭から講評が行われ、「強い揺れが続いている状況では、走って逃げることは困難なので、揺れが収まるまでは身の安全を確保するよう」注意が促されました。

○ 壮行会



総体を前に出場選手を激励するため、生徒会が主催し、壮行会を行いました。

出場選手が壇上に

上がり、生徒会副会長と教頭がともに激励の言葉を贈りました。

○ CGS部テレビ出演



NHK「ギョギョッと和歌山」で本校の取組が紹介されました。

「なんたん蜜姫」の種芋植えについて収録取材を受け、夕方には場所を串本町役場古座分庁舎に移動し、ロケット打ち上げに向けて取り組む様子をライブ



中継で説明しました。

6月

○ 芸術鑑賞



3年に1度の芸術鑑賞を実施しました。今回は劇団マグネットワールドの「地雷探知犬

ニーナ」という演劇を鑑賞しました。

演劇をとおり、生徒たちは世界の現状について知ること、「平和」について改めて考える機会を得たようです。

○ グローカルコース・プール実習



串本ダイビング事業組合のインストラク

ターの方々のご協力によって、実施しているライセンス取得に向けた取り組みが今年度も始まりました。学科試験に合格したグローバルコース（2年）の生徒たちはプール実習と海での実習を重ね、秋には全ての実習を終了し、ライセンスが取得できるよう頑張っています。

○ 進路指導 A S



進路指導部が新入生を対象に、卒業後の進路実現に向けて今後、意識して高校生活で取り組んで欲しいことをスライドショーと挨拶動作を実演も交えて説明しました。

○ コース説明



新入生および保護者を対象にコース説明会を実施。

二年時のコースを決定するための取り組みが進められます。そうした取り組みに向けた準備を家庭でも進めてもらいたいと考えています。

説明会では改めて各コースの授業内容と卒業後の進路との関係性について詳しく説明されました。

7月

○ 第1回学校運営協議会

会議では、本年度の取り組み、昨年度の取り組み、地域協議会からの報告が行われました。今回は委員の1名の方にオンラインで参加いただきました。

○ 缶サット甲子園に出場



缶サット甲子園2021 和歌山地方大会が串本町潮岬で行われ、1年生の3名が初めて参加しました。



当日は晴天に恵まれ、打ち上げと成果発表が行われました。残念ながらデータ収集には失敗しましたが、早くも次回に向けての意欲を示していました。

○ 自動運転体験



旧古座高校グラウンドにおいて希望者が参加して自動運転の体験学習に参加しました。



参加した生徒たちは、制御に関する説明を受けた後、プログラミングされたルート情報に沿って自動運転される自動車に乗車し貴重な体験ができました。

○ 吹奏楽部・硬式野球部壮行会



吹奏楽部と硬式野球部の1年で最も大きなコンクールと選手権大会は、他の部活動とは開催時期が異なるため、例年この時期に壮行会を実施しています。

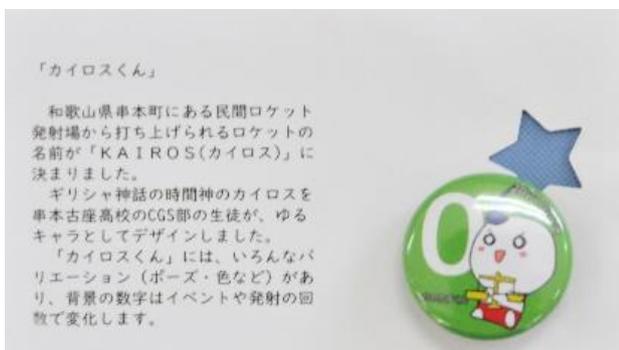
壮行会では、生徒会および教頭から激励の言葉があり、これにこたえるように吹奏楽部および硬式野球部から感謝の言葉や大会への意気込みや大会日程などが伝えられました。

○ 宇宙シンポジウム in 串本



串本町のホテル&リゾート和歌山串本で、「宇宙シンポジウム in 串本」が開催されました。

当日は、宇宙飛行士の山崎直子さん、はやぶさ2プロジェクトマネジャーの津田雄一さん、三菱電機の小山浩主席技監、スペースワン株式会社の遠藤守最高顧問、東京大学大学院の中須賀真一教授が、講師やバネリストとして参加されました。



これに合わせて本校CGS部は、串本で打ち上げられるロケット名の「カイロス」にちなんだ「かいロスくん」バッジを作成しました。

当日は、登壇される県知事やシンポジウム参加者にバッジを直接手渡すと共に、来場された先着約80人にも配布しました。